

第34回 お茶の水女子大学日本言語文化学会研究会プログラム

2007年6月23日(土)午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時~2時50分

「協働作文活動としてのピア・レスポンスの可能性—作文プロダクトと活動プロセスの観点から—」

原田三千代 (お茶の水女子大学大学院)

「ホームビジットプログラムの談話的特徴とコミュニケーション教育としての可能性」

鈴木伸子 (アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)

「創発的な学びを促す学習環境のデザイン—日本語支援コミュニティを例として—」

森下雅子 (早稲田大学日本語教育研究センター)

「共生言語としての二言語使用の可能性—理工系大学院における日本人学生と留学生の日英間コードスイッチングの分析から—」

田崎敦子 (東京農工大学留学生センター)

「イニシアチブ・レスポンス分析を用いた接触場面における会話参加の対称性と非対称」 岩田夏穂 (日本大学)

「批判的ふり返りによる聴き手の学び—日本語教師の協働的ふり返りの可能性—」 池田広子 (お茶の水女子大学)

「ビジネス・コミュニケーションを中心にした初・中級向けのシラバス開発—日印ビジネスの現場における日本語使用実態調査をもとに—」

ムグダ ヤルディー (政策研究大学院大学)

◎研究発表 午後3時~5時10分

<第1分科会> 司会: 菊池民子

「在日中国系企業の企業内接触場面における関係構築—日本人従業員の中国人経営者との関係形成プロセスを通して—」

申愛子 (株式会社ファーストリテリング)

「母親による言語少数派生徒への母語保持・育成教育の可能性」

小田珠生 (お茶の水女子大学大学院生)

「子どもの母語を活用した学習支援における母語話者支援者の意識変容のプロセス」

宇津木奈美子 (お茶の水女子大学大学院生)

<第2分科会> 司会: 佐野香織

「韓国人日本語学習者の学習スタイル」

朴志仙 (お茶の水女子大学大学院生)

「中国における日本語選択履修生の BELIEFS について—日本語選択科目の改善を考える—」

李友敏 (北京日本学研究センター)

「フランス在住の日仏国際カップルは子どもの日本語教育についてどのような教育観を持っているか」

村中雅子 (お茶の水女子大学大学院生)

<第3分科会> 司会: 古市由美子

「ピア・レスポンス活動によって作文学習意識はどう変るか—JFL 環境の中上級中国語母語話者を対象に—」

劉娜 (お茶の水女子大学大学院)

「精読授業にグループワークを取り入れる可能性—日本語学習観の観点から—」 楊峻 (北京語言大学外国語学院)

「Eメールでの作文添削活動における添削行動決定要因—「さくぶん.org プロジェクト」の事例を通して—」

堀川有美 (稚内北星学園大学)、武田知子 (恵泉女学園大学)、鈴木美希 (日本学生支援機構)、

清水寿子 (お茶の水女子大学大学院)、得丸智子 (日本女子体育大学)

<第4分科会> 司会: 半原芳子

「日本語母語話者・非母語話者実習生による相互作用の批判的再検討—多文化共生指向の日本語教育実習から—」

平野美恵子 (稚内北星学園大学)

「日本語母語話者と非母語話者の相互学習型活動における参加者のカテゴリー化実践—大学授業でのグループディスカッションを対象に—」

杉原由美 (お茶の水女子大学大学院)

「日本語教育におけるシャドーイングの有効性—1名の学習者を対象とした短期実験からの多角的考察」

唐澤麻里 (文化外国語専門学校)

◆ 第34回日本言語文化学会研究会運営協力者 (敬称略)

金井淑子、楊峻、滑川恵理子、宇津木奈美子、岩井朝乃、石井佐智子、岡村郁子、堀切友紀子、池田広子、李志暎、岩田夏穂、内田紀子、小田珠生、河先俊子、清田淳子、佐藤真紀、杉原由美、鈴木伸子、田崎敦子、原田三千代、半原芳子、房賢嬉、平野美恵子、堀川有美、森下雅子、三輪充子、穆紅、楊峻、劉娜、船戸はるな、趙英梅、岡嶋裕子、陳雪萍、持田ひろ子、村中雅子、蘇位静、洪玉芬、松尾麻里、遠藤宏子、陳明淑、黃怡君、朴貞玉、田川麻史、寺下裕久美、韓燕、瀧脇万寿子、宝田恵利、朴エステル、小林智香子、林銀實、張鉄英、張翌琳、マトカム・パワイトラー、石原翠、土田千緒実、高岸美代子、高梨宏子、山中弘子、西岡あや、王維、李梅、柏宣宇、許太玲、吉田好美、清水寿子